



2022年10月20日

各 位

会 社 名 株式会社Ubicomホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 正之
(コード番号:3937 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経営戦略本部長 八田 真資
(TEL.03-5803-7339)

米国IT先端企業を投資対象とするファンド 「GoAhead Ventures III」への出資に関するお知らせ

株式会社Ubicomホールディングス（本社：東京都文京区、代表取締役社長：青木正之、証券コード：3937、以下「当社」）は、本日開催の取締役会において、GoAhead Ventures（本社：米国カリフォルニア州（シリコンバレー）、代表取締役：森健、以下「GoAhead」）が運営する「GoAhead Ventures III,L.P., a Delaware limited partnership」（以下「GoAhead 3号ファンド」）への出資を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 出資の目的

GoAheadは、シードやアーリーステージレベルの企業を対象にした在シリコンバレーの投資ファンドを運営することを目的として2005年1月に設立され、ベンチャーキャピタル業界での長年のキャリアを有する代表と、Forbes 30 under 30 Venture Capital (2017) に選出された2名のキャピタリストから構成され、多数の起業家・スタートアップ企業の発掘、成長支援で高い実績を上げております。投資先として年間1,000社以上のベンチャー企業から、10数社への投資を行う投資スタイルで、2014年に立ち上げたGoAhead 1号ファンドおよび2019年に当社が出資したGoAhead 2号ファンドは、日本のメガバンクや大手製造業などが出資を行い、これまで高い収益率・パフォーマンスを獲得しております。

また、同社のシリコンバレー所在のオフィスに当社サテライトオフィスを開設し、密接なパートナーシップを構築しております。

上述のとおり、GoAheadの投資先としての十分な成果に加え、当社が戦略市場と位置付けるAI領域やヘルスケア領域における現地の最新動向の調査、ネットワークの構築、そして米国先端企業との事業提携機会の獲得の強化を目的として、2019年に実施したGoAhead 2号ファンドへの出資に続き、この度の同3号ファンドへの出資を決定いたしました。

当社は引き続き、「Ubicomグループの第2成長フェーズ」で掲げる、米国を含むグローバル市場ならびにグローバルメディカル市場に向けたリサーチ及びマーケティング活動を推進してまいります。

2. 出資案件の概要

(1) 運営会社	GoAhead Ventures LLC	
(2) 本社所在地	米国カリフォルニア州 (シリコンバレー)	
(3) 設立年月	2005年1月	
(4) ファンド名称	GoAhead Ventures III, L.P., a Delaware limited partnership	
(5) 運用期間	10年を目途	
(6) 当社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	該当事項はありません
	取引関係	該当事項はありません

3. 今後の見通し

本件が当社業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後、当社業績に重要な影響を及ぼすことが明らかになった場合には、速やかに開示いたします。

<Ubicom ホールディングスについて>

当社は、時代の先を見据え、人材不足や医療問題等の社会課題の解決に資するITソリューションを創造する、唯一無二のビジネスイノベーションカンパニーであり続けることを経営理念に掲げ、戦略市場と位置付ける、主に医療・金融/公共・自動車・製造/ロボティクス領域のDX（デジタルトランスフォーメーション）と、AIやメディカル領域を中心とした高付加価値人材の育成を推進しています。

また、昨今においては「Ubicomグループの第2成長フェーズ」の推進に向けて、1) 成長企業やリーディングカンパニーとの戦略的提携、出資、M&A 等を通じて事業成長を加速化するWin-Winインベストメントモデルの推進、2) 次世代を見据えた新規事業開発、そして3) プラットフォームビジネス等の新たなSaaS/リカーリング型の収益性の高いマネタイズモデルの積み上げに向けて、グローバル目線で取り組んでおります。

以上